

かのうの子



東御市立和小学校学校だより 令和3年5月号

ZOOMで双方向会議にチャレンジ

第1回 児童総会開催



5月13日に児童総会が行われました。始業式やPTA総会と同様に、遠隔通信システム「ZOOM」を使っての開催でしたが、今回は、一方から発信するだけでなく、活動計画を発表する委員長さんたち（上写真）と、教室で発表を聞く子どもたち（下写真）との質疑応答を行うという新しい試みでした。



意見や質問のある子どもたちは、黒板に貼られたタブレットの前に学年学級を書いたカードをかざし、議長さんから指名を受けた学級の児童が質問や意見を伝えました。「ベルマークでどんな品物を購入するか決める時には私たちも一緒に考えたい!」といった声も聞かれ、子どもたちの児童会活動への関心の高さが感じられました。タブレットの向こうの子どもたちに向かって、丁寧に答えたり考えを述べたりする委員長さんたちの姿、その声を各教室で真剣に聞く子どもたちの眼差し。一堂に会することはできなくても、児童会活動を通して子どもたちの心がしっかりとつながっていることを感じた総会でした。

総会終了後「緊張した…」とほっとした表情を見せていた児童会役員のみなさんの姿、教室に戻った役員の方たちを「お疲れ様!」と優しい表情で迎える役員以外の6年生の姿。4・5年生の子どもたちの感想カードには「6年生は下の子たちの役に立つようにしているんだな。自分も6年生になった時には、今の6年生みたいにがんばりたい。」という声がたくさんありました。児童会活動を通じ、和小学校の素晴らしい伝統と下級生への思いやりが受け継がれていることを感じ、心が温かくなりました。

読書を楽しみ、本の世界に浸る春の読書週間



昨年度、児童一人当たりの図書館貸出し冊数が、106冊。1日平均198冊の貸出しがあったそうです。4・5月の臨時休業や感染拡大防止のための図書館利用制限にもかかわらず、大勢の子どもたちが図書館に通い読書に親しんだ結果です。

今年度も、読書活動を全校で大切にしたい活動の一つとして様々な取組をしています。1週間に3日、朝の活動時間に全校読書を位置付け、一斉読書をしています（写真左）。低学年は、先生方が読み聞かせや紙芝居をします。連休明けの1週間を「春の読書週間」にして、3冊貸出しやマルーシカ、親子文庫の方の読み聞かせで本の世界に親しんでいます（写真中央）。休み時間には、図書委員が大型絵本の読み聞かせをしてくれ、低学年を中心に毎日20～30人が参加しました（写真右）。いつも机やロッカーの中には図書館の本があり、授業の中でも時間があれば読書をすることができます。想像力や豊かな心を育むことや知識を豊富にすること、文章に触れることで言語能力を豊かにすること、調査や検索で本を活用できるようにすることなどを願っています。スマホやパソコン、テレビに向かうこともありますが、読書も十分楽しんでほしいと思います。

日頃の運動の成果を 和リンピックに向けての練習



例年よりも大分梅雨入りが早まりそうで、空を気にしながらの練習が続いています。今年度の和リンピックも、感染症拡大防止のため、来賓をお呼



びせずに半日開催としました。また、特別時間割期間を1週間に短縮し、体育の授業と朝の時間をフル活用して練習しています。ちょうど運動に適した気候で、子どもたちはとても気持ちよさそうに体を動かしています。いくつも種目があった頃は、「次はこの練習」と慌ただしい毎日でしたが、日常の体育授業の成果を示し、運動を楽しむという本来の目的にかなった練習ができています。感染対策をしながら、5日には和リンピックを開催します。

個別学習に有効 タブレットに使い慣れる子どもたち

「多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、子どもたち一人一人に公正に個別最適化され、資質・能力を一層確実に育成できる教育ICT環境を実現する(文部科学省の資料より)」、すなわち『GIGAスクール構想』を推進しています。今年度は、「GIGAスクール構想」実現の初年度と考えています。そのために必要なのが、一人一端末と通信環境の整備でしたが、東御市では、昨年度の早い段階から子どもたち一人一人へのタブレット配付と学校内の高速通信環境の整備に取り組んでくださいました。私たちは、ICT教育の研修をしながら、実際に授業で活用するといった同時並行的な取組を模索しています。やはり子どもたちの習得は速い！苦手意識を感じているのは大人の方で、子どもたちは案外「文房具の一つ」として、学習場面でどんどん使い慣れていきそうです。



4年生が樹木園で“春探し”。見つけた植物や虫をタブレットで撮影。「見つけた！」と大きな声があちこちから聞こえました。教室に帰ってから、見つけた“春”を紹介し合いました。



タブレットから流れる「朧月夜」の伴奏に合わせて、何度も歌の練習をする6年生。大勢で合唱することが制限される中、個別学習で。子どもたちの澄んだ歌声が静かな教室に響きました。



5年生の社会科では、「米作りの工夫や努力」をテーマに、インターネットで検索した資料を集めていました。集めた資料を整理しながら、自分なりの「お米ブック」にまとめていました。



楽譜を写真に撮り、それを見ながらタブレットから聞こえる演奏に合わせてリコーダー練習。子どもたちからは、リズムやテンポがわかるので練習しやすいとの声がありました。



樹木調査をしている3年生は、タブレットで「木札」を作成することに挑戦しています。そのために、IDやパスワード設定、Google クラウド登録を行い、キーボード入力もしました。



1, 2年生は、タブレットの基本的な使い方を学習しました。撮影では、「断りなく人を撮影しない」を大切な約束としました。思い思いに教室や校舎の中を歩き回り、夢中で撮影しました。

※ 6月中旬には、タブレットを家庭に持ち帰り、接続テストを行う予定です。

職員研修Ⅰ～探究的な学習の充実～

「何をしようか？かのうタイム」



教職大学院研修中の油井先生を講師に、「生活科や総合的な学習の時間」（「かのうタイム」と呼んでいます）の学習づくり研修をしました。信大大学院生や研修生も一緒に参加しました。研修では、今年度の学習活動を構想するために、チームでいろんなアイデアを出し合い、ウェビング・マップ（下図）に書き込んでいきます。あるグループでは、「樹木園」でどんな学習ができるか考えていました（下写真）し、「ペットボトル」や「泥団子」を題材に意見を出し合ったグループもありました。既に活動が始まっている5・6年生のグループでは、学習活動のねらいや具体的な活動の説明があり、ここでも活発な意見交換がありました。子どもたちの願いや疑問から学習をスタートし、自分たちで考えて学習活動を進めていく、和の子どもたちにつけたい学びの姿です。この学びの様子を学校だよりでもお伝えしていきます。



樹木園ではこんなことができそうだマップ

職員研修Ⅱ ～人権同和教育研修～

差別に学ぶ

19日（水）の職員研修では、市教委の岡澤指導主事先生から、「部落差別の歴史から学ぶもの2～明治から現在までの歴史の中で強められていった部落差別～」のお話をお聞きしました。3年前からシリーズのようにお聞きした内容は、今回明治から現在に至るまでの差別の歴史です。社会や経済の変化に伴って、いかに差別意識が醸成されてきたか、分かりやすく学ぶことができました。また、新型コロナウイルス感染者に対する差別や中傷、誹謗についても言及され、人々の意識・感情がどう変化して差別や中傷に向かうのか、またそうした意識・感情に流されないようにするにはどうしたらいいのか、自分事として学ぶことができました。

職員研修Ⅲ ～一人一公開授業～

同僚の授業に学ぶ



本校では、授業での指導力向上のため、お互いの授業を見合い、意見交換する機会を設けています。道徳科と総合的な学習の時間、生活科の授業を中心に、既に何人かの先生方が授業公開をしました。写真は、6松の道徳科の授業の様子です。同じマンションに住む住民同士のトラブルを扱った資料を読んで、集団生活でのルールやお互いの権利を守ることにについて考え、話し合いました。資料と真剣に向き合い、自分の考えをしっかりと持ち、お互いの意見を聞き合う、そんな姿が見られた1時間でした。

第1回「かのう学校」運営委員会開催



委員長に学校評議員の伊藤さん、副委員長に学習支援ボランティアの池田さんを選出し、第一回運営委員会が発足しました。この委員会の目的は、地域と家庭、学校が連携し和地域の特色を生かして子どもたちの教育にあたることです。昨年度の活動報告と今年度の活動計画を発表し、ご意見をいただきました。どんなことでも協力したい、和小は明るい学校、学習の積み重ねと引き継ぎを、先生方も楽しむような活動をやってほしい等の声をいただきました。コロナ禍にあっても、やり方を工夫したり形を変えたりして、今年度はできるだけ地域との活動を充実させたいと考えています。

和んぱく見守り隊と協力団体との懇談会



平成17年の見守り隊発足当時ご協力いただいた団体代表の皆様と、見守り隊の方々にお集まりいただきました。区長会、地域づくりの会、子ども会連絡協議会、民生児童委員協議会、安協和支会、シニアクラブ、商工会、青少年補導委員会、消防団第4分団、PTA会長、校外指導部の皆様です。それぞれの団体では、今後どのような協力が可能か話し合っていきたい、見守り隊加入の声をしていきたい、「できることを無理なくできるときに」を今後も大切にしていきたい、などのご意見をいただきました。会の中では、「子どもたちは地域の宝。地域の子どもたちは地域で守る。」という言葉が何度も聞かれました。別紙として、隊員募集のご案内をいたしましたのでご覧いただき、ご協力をお願いいたします。

春のPTA作業



前日の梅雨空から青空が広がる初夏の天候になりました。早朝よりお集まりいただき、校舎内の清掃、草刈り、池の泥上げ、樹木園の整備の他、バルマークの集計作業など幅広く行っていただきました。作業内容が多かったものの、予定終了時刻よりも早く終わることができました。おやじの会の方々には、6時前から草刈り、PTA作業終了後も、草の片づけや校庭の整備の他、鯉の池周辺のタイルはがしをしていただきました。今後、見栄えよく整備する予定です。ありがとうございました。

土曜参観日・講演会・引き渡し訓練



15日(土)は、年に1度の土曜参観日。基本的な感染対策に加え、授業参観と講演会をセットにして、教室が密にならないようにしました。保護者の皆様にも、教室の混み具合を見ながら距離を保つようお願いしたところ、配慮してくださっている場面がたくさん見られました。また、車での来校を控えていただきましたが、この点でもご理解とご協力をいただきました。お互いに気遣いができる保護者の皆様に感謝です。授業参観と同時に行った講演会は、市教委青少年係の小菅さんから「近視とスマホ脳」について具体的な資料を見せていただきながらお話をお聞きしました(上写真)。知らないうちにスマホ依存に陥っている怖さを感じました。約130名の参加がありました。



校庭で行われた引き渡し訓練も、スムーズに実施できました。子どもたちもお喋りせずに、訓練の意味を理解して真剣に参加できました。一人一人、名簿を確認しながら間違いのないよう確実に引き渡すためにはある程度時間が必要となります。実際に災害等が起きた時には混乱が予想されます。今回の訓練のように、慌てず落ち着いて確実にできますようお願いいたします。

6月の予定

- 1日(火) 安全の日
 - 2日(水) 職員研修(インクルーシブ教育・ICT機器の活用法)
 - 4日(金) 和リンピック前日準備
 - 5日(土) 和リンピック(半日開催) 雨天順延(翌日へ)
 - 7日(月) 振り替え休み
 - 8日(火) 土石流災害の避難訓練
 - 9日(水) ムーミン交流3・4・5年
スクールカウンセラー面談日
 - 11日(金) 玉ねぎ収穫3年
 - 14日(月) 社会科見学(東御市巡り)3年
 - 15日(火) 高原学習・烏帽子登山5年(～16日) 和記念館清掃6年
 - 16日(水) ムーミン交1・2・6年
 - 17日(木) 5年休業
 - 18日(金) 歯科検診5・6年
 - 21日(月) 民生児童委員との懇談会
 - 22日(火) PTA代議員会②
 - 23日(水) 人権同和教育講演会(オンライン)
放課後げんき塾(希望者)
 - 24日(木) 新体力テスト、児童会③
 - 25日(金) プール開き、歯科検診3・4年
 - 28日(月) 歯の衛生週間、社会科見学4年
 - 30日(水) 創造館学習6年、放課後げんき塾
- *****

四季折々に変化する日本の自然は、その時その時の輝きや美しさ、豊かさがあり、いつが一番などと考えるのはどうかと思いますが、私は、桜の時期もさることながら、今の季節が一番美しいと感じます。そんな素晴らしい季節に、子どもたちの学習活動もいよいよ本格化し活気に満ちています。そこかしこで見られた子どもたちや先生方、保護者や地域の皆様の姿を集めてこの紙面でご紹介しました。振り返ってみて、充実の五月だったなと感じています。このたよりは、本校ホームページでもご覧いただけます。 文責・作成：校長 教頭